

各関係機関の長 殿

福岡県病虫害防除所長

平成16年度病虫害発生予報第7号について

このことについて、以下のとおり送付します。

平成16年度病虫害発生予報第7号(10月)

【果 樹】

作物名	病虫害名	発生現況 (平年比)	発生予想 (平年比)
カンキツ	ミカンハダニ	少ない	少ない
カキ	炭疽病	やや多い	多い
カンキツ カキ	カメムシ類	やや少ない	やや少ない

【果 樹】

1 カンキツのミカンハダニ

(1) 予報の内容

発生量 : 平年・前年より少ない

(2) 予報の根拠

ア 9月5半旬調査の結果、寄生葉率は0.8%(平年:8.4%、前年:5.4%)であった。

イ 気象予報では、10月の平均気温は高く、降水量は平年並と予想されている。

(3) 防除上注意すべき事項

果実に被害が認められない場合は、防除を行う必要はない。

2 カキ炭疽病

(1) 予報の内容

発生量 : 平年・前年より多い

(2) 予報の根拠

ア 9月5半旬調査の結果、発病枝率は0.9%(平年:1.0%、前年:0.6%)、発病果率は2.5%(平年:1.5%、前年:1.4%)であった。

イ 台風による枝葉の損傷や傷果が多く、その後の長雨により感染しやすくなっている。

ウ 気象予報では、10月の平均気温は高く、降水量は平年並と予想されている。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 罹病枝及び罹病果は、感染源になるので極力除去する。

イ 防除を行う場合は、農薬使用基準を遵守する。

3 カンキツ、カキのカメムシ類

(1) 予報の内容

発生量：平年・前年よりやや少ない

(2) 予報の根拠

ア 9月5半旬調査の結果、カキの被害果率は5.8%（平年：4.3%、前年：1.1%）であった。

イ 9月1～5半旬までの予察灯（県内6カ所平均）での誘殺虫数は次のとおりである。

チャバネアオカメムシ 224頭（平年：2,340頭、前年：776頭）

ツヤアオカメムシ 27頭（平年：671頭、前年：182頭）

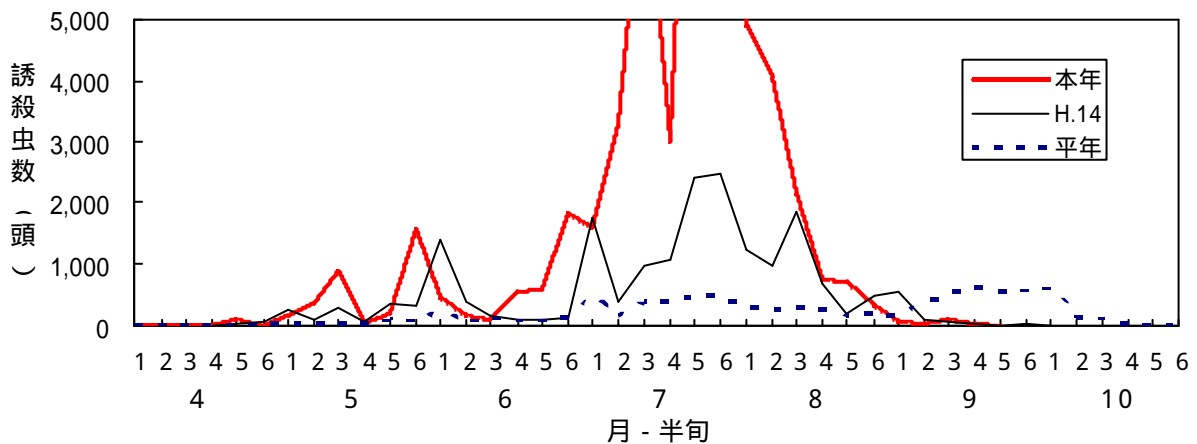
ウ 同集合フェロモントラップ（筑紫野市）での誘殺虫数は次のとおりである。

チャバネアオカメムシ 894頭（前7か年平均：807頭、前年：23頭）

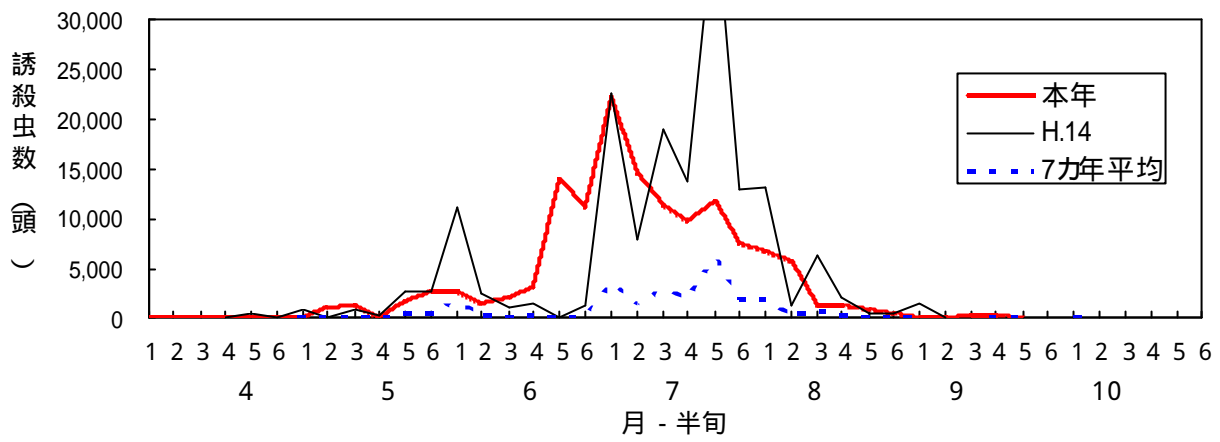
ツヤアオカメムシ 12頭（前7か年平均：880頭、前年：4頭）

(3) 防除上注意すべき事項

防除を行う場合は、農薬使用基準を確認し薬剤の選定を行う。



予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺虫数の推移 (頭)



チャバネアオカメムシの集合フェロモンによる誘殺虫数の推移 (筑紫野市)

【野 菜】

作物名	病虫害名	発生現況 (平年比)	発生予想 (平年比)
イチゴ	うどんこ病 炭疽病 アブラムシ類 ハダニ類	やや少ない 多い やや少ない 並	少ない 多い 並 並
キャベツ	黒腐病 菌核病 コナガ	並 並 やや多い	並 並 やや多い
レタス	菌核病 灰色かび病 腐敗病	並 並 並	並 並 並
アスパラガス	斑点病 ハダニ類 アブラムシ類 アザミウマ類 ヨトウ・タバコガ類	やや多い 少ない やや少ない 並 並	やや多い 少ない やや少ない 並 やや多い
ネギ	シロイチモジヨトウ	並	並
野菜共通	ハスモンヨトウ オオタバコガ	やや多い -	多い -

【野 菜】

1 イチゴの炭疽病

(*Colletotrichum acutatum* 菌による葉枯れ炭疽及び *Glomerella cingulata* 菌による炭疽病)

(1) 予報の内容

発生量：平年より多く、前年並

(2) 予報の根拠

ア 9月5半旬調査の結果、発病株率は1.3% (平年：0.3%、前年：0.3%) であった。

イ 気象予報では、10月の平均気温は高く、降水量は平年並と予想されている。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 育苗期に本病が発生したほ場では、本ほでも発生する可能性がある。

イ 発病株を早めに除去し、適正に処分する。

ウ 薬剤感受性低下を避けるため、同一系統薬剤の連続散布を控え、異なる系統の薬剤をローテーションで散布する。

2 キャベツのコナガ

(1) 予報の内容

発生量：平年よりやや多く、前年より多い

(2) 予報の根拠

ア 9月5半旬調査の結果、寄生株率は10.6%（平年：2.9%、前年：0%）であった。

イ 気象予報では、10月の降水量は平年並と予想されている。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 多発すると防除が困難になるので結球前の防除を徹底し発生を抑制する。

イ 老齢幼虫に対しては薬剤の効果が著しく低下するので、1～2齢幼虫を対象に防除を実施する。

ウ 薬剤感受性低下を避けるため、同一系統薬剤の連続散布を控え、異なる系統の薬剤をローテーションで散布する。

3 ネギのシロイチモジヨトウ

(1) 予報の内容

発生量：平年、前年並

(2) 予報の根拠

ア 9月5半旬調査の結果、被害株率は2.8%（平年：1.6%、前年：1.6%）であった。

イ フェロモントラップ（朝倉町長淵）による誘殺虫数は8月5半旬～9月2半旬は247頭（平年：247.5頭、前年：205頭）、9月3半旬～9月5半旬は232頭（平年：207.8頭、前年：239頭）であった。

ウ 気象予報では、10月の平均気温は高く、降水量は平年並と予想されている。

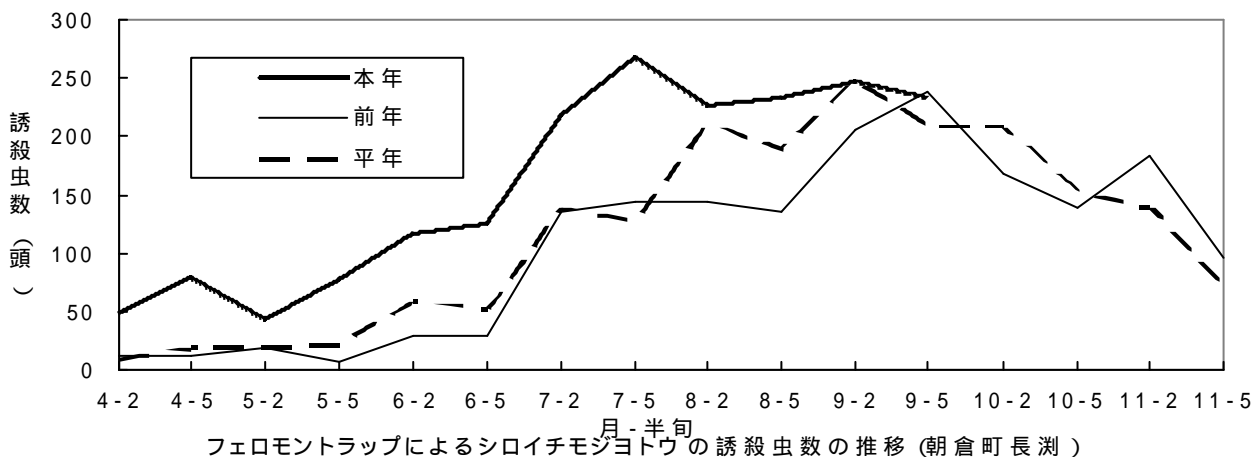
(3) 防除上注意すべき事項

ア 中齢以降の幼虫に対しては薬剤の効果が著しく低下するので、早期発見に努め、孵化直後の幼虫をねらって防除を行う。

イ 施設栽培では、成虫の飛び込み防止のため4mm目以下の防虫ネットを隙間なく張る。

ウ 葉身に産下された卵塊から孵化した幼虫は、そのまま葉身内に食入し内部から食害するため、卵塊や初期の被害葉は見つけ次第除去する。

エ 薬剤感受性低下を避けるため、同一系統薬剤の連続散布を控え、異なる系統の薬剤をローテーションで散布する。



フェロモントラップによるシロイチモジヨトウの誘殺虫数の推移 (朝倉町長淵)

4 野菜共通のハスモンヨトウ

(1) 予報の内容

発生量：平年、前年より多い

(2) 予報の根拠

ア 9月5半旬調査の結果

イチゴの寄生株率は6.0% (平年：2.8%、前年：5.0%)、被害株率は20.7% (平年：13.8%、前年：19.0%)であった。

アスパラガスの若茎寄生株率は平均：19.0% (平年：8.0%、前年：23.3%)であった。

イ 9月4～5半旬のフェロモントラップ(筑紫野市)による誘殺虫数は678頭(平年：221.6頭、前年：112頭)であった。

ウ 気象予報では、10月の平均気温は高く、降水量は平年並と予想されている。

(3) 防除上注意すべき事項

ア ふ化直後の1令幼虫は集団で葉を食害し、その後周囲に分散するので、初期の食害発生に注意し、卵塊や1令幼虫は見つけしだい捕殺する。

イ 施設栽培ではビニルや防虫ネット、鉄骨などに卵塊を産みつけていることがあるので注意する。

ウ 老齢幼虫に対しては薬剤の効果が低いので、早期発見に努め若齢幼虫の防除を徹底する。

エ トマトやナスなど、作物によっては葉以外に花蕾や果実を食害する場合がありますので、注意する。

オ ほ場周辺の雑草は増殖源になるので、除草を徹底する。

カ 防除薬剤は作物への登録状況を確認し使用する。また苗類については薬害に注意する。

5 野菜共通のオオタバコガ

(1) 予報の内容

発生量：前年よりやや多い

(2) 予報の根拠

ア 9月5半旬調査の結果

イチゴの寄生株率は0.4% (平年：0.2%、前年：0.6%)であった。

キャベツの寄生株率は5.7% (前年：0%)であった。

イ 9月1日～9月28日のフェロモントラップの誘殺虫数は以下の通りであった。

年次	瀬高町文広	八女市忠見	広川町太田	大刀洗町大堰
2002年	23	11	7	15
2003年	120	8	6	18
2004年(本年)	311	183	13	245

ウ 気象予報では、10月の平均気温は高く、降水量は平年並と予想されている。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 中齢以降の幼虫は未熟果や結球部位に食入するため、薬剤の効果が著しく低下する。早期発見に努め、孵化直後の幼虫をねらって防除を行う。

イ 施設栽培では、成虫の飛び込み防止のため4mm目以下の防虫ネットを隙間なく張る。

ウ 薬剤感受性低下を避けるため、同一系統薬剤の連続散布を控え、異なる系統の薬剤をローテーションで散布する。

10月の気象予報（1か月）

（予報期間10月2日～11月1日）

2004年10月1日
福岡管区気象台発表

【概要】

向こう1か月の平均気温は高く、降水量は平年並、日照時間は平年並の可能性が大きいでしょう。

九州北部地方では、天気は数日の周期で変わりますが、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

【要素別確率】

（単位％）

要素	低い （少ない）	平年並	高い （多い）
気温	20	30	50
降水量	30	40	30
日照時間	30	40	30

- < 1週目の予報 > 10月 2日～10月 8日
この期間の平均気温は、平年並か高い可能性が大きいでしょう。
- < 2週目の予報 > 10月 9日～10月15日
この期間の平均気温は、高い可能性が大きいでしょう。
- < 3～4週目の予報 > 10月16日～10月29日
この期間の平均気温は、平年並の可能性が大きいでしょう。

参考資料

福岡における平年値

向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3～4週目の平均気温

向こう1か月			平均気温（ ）		
平均気温（ ）	降水量(mm)	日照時間(h)	1週目	2週目	3-4週目
18.5	87.3	173.5	20.5	19.5	17.5

病虫害防除所では、病虫害の発生状況と防除について、ホームページでお知らせしています。アドレス及び番号は下記の通りです。

ホームページアドレス
電子メールアドレス

<http://www.jppn.ne.jp/fukuoka>
kfok0301@sp.jppn.ne.jp